まいづるのふくし

第206号
令和元年10月発行

コミュニケーションの取り方や介護機器のことなど、非常に多くのことを学べました。今後に役立てていきます！

夏休み社会福祉施設体験学習を実施しました

～将来に役立つ貴重な体験ができました～

利用者の方の「ありがとう」の言葉がとても嬉しかったです！

もくじ contents

お願い 赤い羽根共同募金にご協力をお願いします ……2・3
紹介 社協ってなに？　ボランティアセンター編 …… 4
報告 第30回ふれあいバザーを開催しました …… 5
お願い 使用済み綿布の提供をお願いします …… 5
案内 ボランティアセンター交流研修会を開催します …… 5
地域 地域を知る　新舞鶴・三笠地域 …… 6
地域 地域を知る　城北地域 …… 7
案内 地域支えあいサポーター養成講座を開催します …… 8
案内 きょうと地域福祉活動実践交流会(京丹後市)へ行きませんか？ 8
紹介 社協facebookへ「いいね！」をお願いします …… 8
お礼 寄付のお礼 …… 8

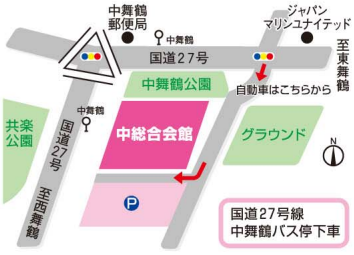
夏休み社会福祉施設体験学習の様子
(8月1日～9日　市内各福祉施設)

施設の仕事を体験し利用者と交流することにより、やさしさや思いやりの心を育むとともに、福祉職を志す人材を育成することを目的として、市内福祉施設の協力のもと毎年実施しています。

参加された18名の皆さん（中学生8名・高校生10名）お疲れ様でした。

また、ご協力いただいた施設の皆さんありがとうございました。

社会福祉法人
舞鶴市社会福祉協議会
（舞鶴市ボランティアセンター、舞鶴市成年後見支援センター
舞鶴市共同募金委員会事務局、舞鶴災害ボランティアセンター）
〒625-0087　舞鶴市字余部下1167（中総合会館 3F）
TEL.0773-62-7044　FAX.0773-62-7039
E-mail　maizuru-shakyo@jasmine.ocn.ne.jp
URL　http://www.kyoshakyo.or.jp/maizuru/



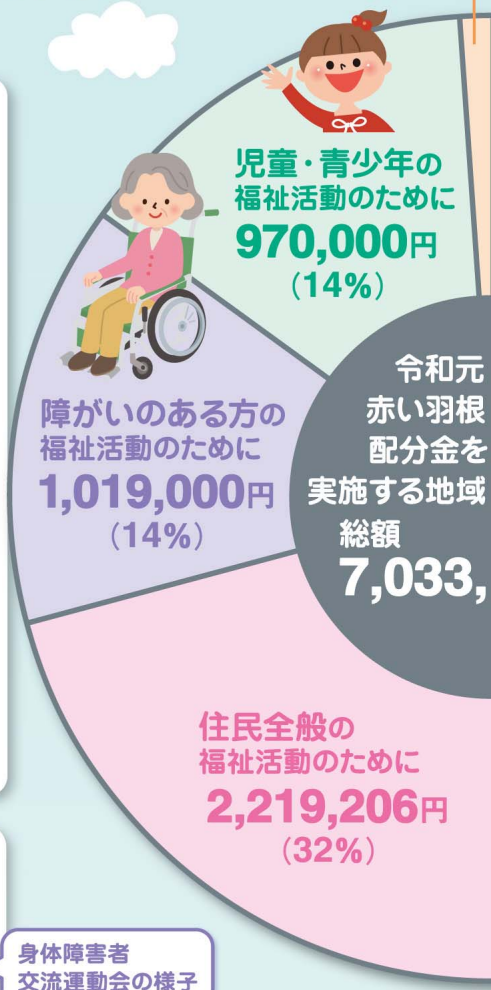
※この広報紙の作成には、皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

舞鶴市共同募金委員会からのお願い

赤い羽根共同募金にご協

赤い羽根共同募金は、戦後間もない昭和22年に、家や家族を失った子どもたちのために「国民たすけあい運動」という名前でスタートしました。

皆さまから寄せられた募金の約70％が配分され、高齢者、障がい者、子育て世代、その他地域福祉活動などに活用されています。



児童・青少年の福祉活動のために 970,000円

【主な使途】

- 市内小・中・高等学校が実施する福祉教育活動…320,000円
- 民児協と社協の協働による子育て世代対象の集いなど…300,000円
- ひとり親家庭の交流事業（母子福祉会）…150,000円
- 養護児童への支援事業（聖母の小さな学校）…150,000円
- 少年の主張大会（子ども支援育成協会）…50,000円

登下校時に見守りをお世話になった方への花の配付の様子（倉梯小学校福祉教育）

子育てふれあいの集いの様子（新舞鶴民児協と社協との協働事業）

障がいのある方の福祉活動のために 1,019,000円

【主な使途】

- 車いす対応車両貸出事業（社会福祉協議会）…510,000円
- 身体障害者福祉大会等（身体障害者団体連合会）…200,000円
- 障がい児・者と保護者、ボランティアグループ等の交流事業…180,000円
- 身体障害者交流運動会（身体障害者団体連合会）…70,000円
- 障害者ふれあい行動デイ（実行委員会）…50,000円
- 民生児童委員協議会と社協の協働による友愛訪問事業…9,000円

身体障害者交流運動会の様子

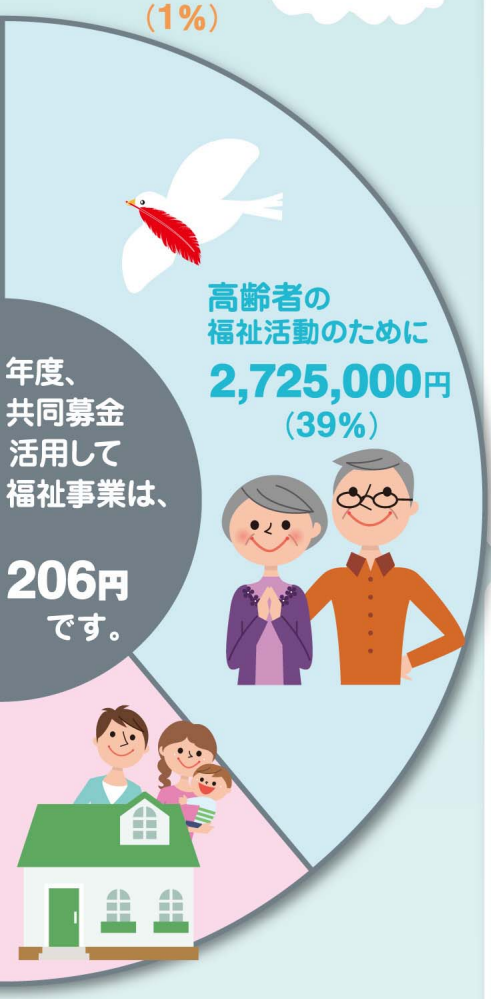
障がい者ふれあい行動デイの様子

課題のある人を

社会を明るくする運動の様子

力をお願いします 10/1~12/31

課題のある人を支える活動のために
100,000円
（1%）



高齢者の福祉活動のために
2,725,000円

【主な使途】
- 大人用紙おむつ割引券の発行事業（社協）…1,970,000円
- 民児協と社協の協働による一人暮らし高齢者の集い・友愛訪問等…695,000円
- 車いす等貸出用介護機器の整備・修繕（社協）… 60,000円

大人用紙おむつ割引券
※1枚につき200円の割引。月3枚まで使用可。

四所地区高齢者ふれあいの集いの様子
（城北民児協と社協との協働事業）

住民全般の福祉活動のために
2,219,206円

【主な使途】
- 社協広報紙「まいづるのふくし」の発行…570,000円
- 福祉施設と地域住民との交流事業（夏祭りなど）…325,000円
- 社会福祉大会の運営…234,000円
- 地域まるごと支えあい助成事業（公募事業）…215,000円
- 民児連広報紙「民児連まいづる」の発行…150,000円
- 自治会長・区長のつどい（自治連・区長連協議会）…150,000円
- ボランティアセンター交流研修会等…110,000円
- 「障害児・者と家族の集い」、たよりの発行等（南福祉協議会）…100,000円
- 民児協と社協の協働による地域住民へのたより発行等…30,000円
- 舞鶴災害ボランティアセンター研修…20,000円
- 地域見守り活動支援等…315,206円

和楽くらぶ体操教室の様子
（地域まるごと支えあい助成事業）

社会福祉大会の様子

支える活動のために
100,000円

【主な使途】
- 社会を明るくする運動の開催（舞鶴地区保護司会）…50,000円
- 非行防止の為のたより発行、啓発活動（更生保護女性会）…50,000円

紹介 社協ってなに？〈ボランティアセンター編〉

市内には、施設訪問、手話、要約筆記など、様々なボランティア活動をしている方がおられます。活動される方を育成･支援し、その活動を普及啓発するために、社会福祉協議会の中に「舞鶴市ボランティアセンター」を設置しています。

今回の「社協ってなに？」では、「ボランティアセンター編」と題し、センターの事業などについてご紹介します。

舞鶴市ボランティアセンターとは？

【設置目的】

市民の幅広いボランティア活動を推進することにより、市民が課題解決を図ることができる社会の実現を目指す。

【設置時期】

昭和50年10月（「社会奉仕活動センター」としてスタート）

【登録数（令和元年9月1日時点）】

71グループ（休会含む）･個人4人　計965人

※各グループの内訳　高齢者領域：24、障がい者領域：15、青少年領域：9、その他：23

※センターへの登録方法、グループへの加入などについては、舞鶴市ボランティアセンター（62-7044）までお問い合わせください。

【センターの主な活動】

登録グループから選出された13名の運営委員（任期2年）を中心に、下記のような活動を行っています。

- **登録ボランティアの交流研修会**（年1回。今年は11/14（木）に開催。5ページ参照）
- **新たにボランティアを始めたい方を対象とした講演会･体験教室**（年1回。今年度は2月頃を予定）
- **ふれあいバザー**（毎年8月末に開催。5ページ参照）
- **ボランティアだより発行**（毎年4･8･12月の3回。市内公共施設にも設置。これとは別に、年に1回市民向けのたよりも発行し活動を紹介）
- **福祉施設に綿布を贈る活動**（毎年6･11月の年2回。5ページ参照）
- **「舞鶴災害ボランティアセンター」の構成団体として、災害発生時の復旧支援**

昨年度のボランティア交流研修会の様子

昨年度のボランティア体験教室での手話の様子

平成30年7月豪雨災害時のボランティア活動の様子

年々、活動者の減少･高齢化が課題になっています。「何か始めてみたい」と思っておられる特に若い方！ぜひ一緒にボランティア活動を始めてみませんか？

来年の10月で、センターは45周年を迎えます。今後もさらに、活動者の皆さんが交流を深めながら楽しく、有意義な活動ができるよう、運営委員一同力を合わせてまいります。

舞鶴市ボランティアセンター
運営委員長　田中 國雄（朗読ボランティア木曜会 会長）

報告 8/24(土) 第30回ふれあいバザーを開催しました

30回目の開催となった今年のふれあいバザーも、開場前から約100名もの方にお待ちいただくなど大盛況となりました。

今年は2,000点を超える物品をご提供いただいたことや、飲食コーナーでは前年以上のカレーやうどんを提供できたことなどにより、全体の収益は、昨年度を大幅に上回る218,776円（昨年度173,181円）となりました。このお金は、今後センターの活動をさらに充実させるための研修などに活用させていただきます。

物品提供、ご来場、ボランティアなど、ご協力いただいた全ての皆さまありがとうございました！

人気の商品は一瞬でなくなりました

キッズコーナーでは
高校生ボランティアも大活躍でした

カレーもうどんもおいしかったよ～♪

お願い 使用済み綿布の提供をお願いします

舞鶴市ボランティアセンターでは、平成27年度から年2回、皆さまのご協力のもと市内の福祉施設に使用済みの綿布をお届けしています。

福祉施設では、身体の汚れを落とす時や床を拭く時などに多くの綿布を必要とされています。

10回目となる今回、下記のとおり綿布の受付を行いますので、不要になった綿布がございましたら提供いただきますようよろしくお願いします。

受付日時　令和元年 11月26日（火）
10:00～15:00
受付場所　舞鶴市中総合会館3階　301会議室
募集物品　綿のタオル、シーツ、肌着など
※洗濯済みのものをご提供ください。

前回（第9回）の施設への受渡しの様子

案内 ボランティアセンター交流研修会を開催します

聖母の小さな学校
梅澤 良子 先生

舞鶴市ボランティアセンターでは、市内のフリースクール「聖母の小さな学校」の梅澤良子先生をお迎えし、センター登録活動者を主な対象として交流研修会を開催します。

不登校の現状や生徒の思いなどについて学ぶとともに、他グループの活動者とも交流できる貴重な機会です。皆さまのご参加をお待ちしています。

日時　令和元年 11月14日（木）
13:30～15:30
場所　舞鶴市中総合会館3階　集団健診室
対象　舞鶴市ボランティアセンター登録者（50名程度）
※登録者以外の方でご興味のある方は下記までご連絡ください。
内容　「不登校の子ども達の教育を通して見えてきた現代社会」
（講師　聖母の小さな学校　梅澤良子先生）
その他グループワーク　など
申込先　舞鶴市ボランティアセンター（62-7044、舞鶴市社会福祉協議会事務局内）へお電話をお願いします。

地域 地域を知る 新舞鶴・三笠地域

今回の「地域を知る　新舞鶴・三笠地域」では、新舞鶴民生児童委員協議会の会長として活動されている倉内勝美さんにインタビューさせていただきました。

新舞鶴・三笠地域は、人口14,247人、そのうち65歳以上の高齢者は4,571人（高齢化率は32.1%）です（平成31年4月1日現在）。

新舞鶴民生児童委員協議会 倉内 勝美 会長 にインタビュー

倉内　勝美さん

Q1.民生児童委員になられたきっかけは何ですか？

A. 委員になって3期9年目ですが、当時の自治会長から依頼され「自分にも何か人の役に立てられることがあれば」と思ったことがきっかけです。

Q2.民生児童委員、また会長としてどのような活動をされていますか？

A. 一言で言うと「地域の見守り」です。高齢者や障がいのある方、子育て中の方の様々な相談に乗り、必要に応じ、社会福祉協議会や地域包括支援センター等の関係機関へつないでいます。

会長としては、地区の民生・児童委員の取りまとめ役として、各委員が活動しやすい体制・関係づくりに取り組んでいます。資料等については、必ず各委員宅を訪問して配付することでコミュニケーションを深めるようにしています。また、自治会や老人会等の会合にも顔を出すようにしています。

Q3.委員活動の中で大切にしていることは何ですか？

A.「誰にでも 気軽に 笑顔で 声かけする」ことを心がけています。堅苦しい話や難しい話より、何気ない世間話を大切にしています。そういった会話の中から様々な課題が見えたり、解決のヒントがあったりしますし、何より「相談しやすい地域づくり」につながると思っています。

Q4.これまでの活動の中で最も印象に残っていることは何ですか？

A. 今でも大変悔やまれることですが、地域内で孤独死があったことです。郵便物が溜まっていないかなど注意していたのですが、離れて暮らすご家族とも定期的に連絡をとっておられた方だったこともあり、発見が遅れてしまいました。このことから「地域のつながりづくり」の大切さを改めて痛感しました。

Q5.今後、新舞鶴地域をどのような地域にしたいですか？

A. 二度と孤独死などが起こらないよう、これまで以上に地域での人と人のつながりを強化して、誰もが孤立しない地域づくりを目指したいです。

地区恒例の「子育てふれあいの集い」での倉内会長

「役に立てている自覚はないが、それでも地域の方から感謝の言葉や笑顔をいただくことが何よりの励みになる」とおっしゃっていた倉内会長。

素敵な笑顔で、今後も新舞鶴地域の見守りなどよろしくお願いします。

倉内会長ありがとうございました！

地域 地域を知る 城北地域

今回の「地域を知る　城北地域」では、田辺民生児童委員協議会の会長としても活動されている水島貞夫さんが、新生町内を中心に運営されているサロン「ふれあいおしゃべり会」について紹介します。

城北地域は、4つの小学校区（余内、明倫、吉原、福井）を含む地域です。
人口は17,264人で、そのうち65歳以上の高齢者は5,791人（高齢化率33.5%）です（平成31年4月1日現在）。

サロン「ふれあいおしゃべり会」 平成30年1月立上げ

【活動日時】毎月第2日曜日 13:00～16:00
※翌月曜日が祝日の場合は月曜日に開催するなど、変更の場合あり

【活動場所】西駅交流センター

【対 象 者】地区・世代問わず参加可
※新生町内にお住まいの方へはチラシ回覧、それ以外にお住まいの方へはチラシ配付により開催を周知

【活動内容】ストレッチ体操、脳トレ、出前講座、歌、おしゃべりなど

【参 加 費】200円／回

【問合せ先】75-1503（水島さん）

新生町内では、世代を超えてみんなが集まる機会がほとんどなかったので、何とかしたいと思いこのサロンを始めました。
サロン開催も20回を迎えましたが、私自身、参加される皆さんからパワーをもらい、いろいろと勉強になっています。

代表
水島　貞夫さん

おしゃべりや歌にとても心癒やされていて、毎回来るのを楽しみにしています。

参加者の声

病気をして来られない時期もありましたが、また参加できるようになり大変嬉しいです！

災害に関する市の出前講座では、皆さん真剣に話を聞いておられました

今回10名の参加がありましたが、皆さん大いに学び歌い充実の1日になったようでした。
水島さんも「町内以外の方にももっと参加してほしい」とおっしゃっていましたので、皆さんもぜひ遊びに行ってみてくださいね！

サロンへの参加、立ち上げなどについては、舞鶴市社会福祉協議会までお問い合わせください。

案内 地域支えあいサポーター養成講座を開催します

夢こらぼ主宰
松尾 やよい 先生

「地域支えあいサポーター」とは、地域での孤立を防ぎみんなが安心して暮らせるように、見守りや声かけ、ゴミ出しなどの生活支援を行うボランティアのことです。平成25年度から本会が始めた仕組みで、現在51名のサポーターに登録・活動いただいていますが、徐々に依頼が増えつつあることから、さらに多くの方の協力を必要としています。

皆さまの養成講座へのご参加、そしてサポーター登録をお願いします！

日時 令和元年 11月16日（土）
13:30～16:00

場所 舞鶴市中総合会館3階　集団健診室

対象 地域福祉活動に興味のある方（50名程度）

内容 「つながり 見守り 支えあい
～お互いさまの支えあい～」
（講師 夢こらぼ主宰 松尾やよい氏）

※「小さなおせっかい」から始める地域での助け合いの大切さについて伝授いただきます。

※「夢こらぼ」は、神戸市を拠点に研修会・講演会などを行っている団体です。その内容は、地域づくりや地域福祉のみならず、コミュニケーション、ボランティア、青少年育成など非常に多岐に亘っています。

申込先 11月15日（金）までに舞鶴市社会福祉協議会（62-7044）へお電話をお願いします。

案内 きょうと地域福祉活動実践交流会（京丹後市）へ行きませんか？

昨年度の基調講演の様子
（ガレリアかめおか）

府内で、見守りやサロン活動などを行っている約700名の方が一堂に会し、市町村を越えて学び交流し合う「きょうと地域福祉活動実践交流会」が下記のとおり開催されます（主催：京都府市町村社会福祉協議会連合会丹後ブロックほか）。

8回目となる今回は、「地域福祉の歴史～昭和・平成、そして令和 求められる福祉の形とは～」をテーマに、基調講演や実践報告などが行われる予定です。本会からバスを配車しますので、皆さま奮ってご参加ください！

日時 令和元年 12月7日（土）
12:00～16:10

場所 京都府丹後文化会館（京丹後市）

対象 地域で福祉活動を実践されている方又は興味のある方（先着45名）

内容 基調講演「歴史から学ぶ支えあいのカタチ」
（講師 公益財団法人さわやか福祉財団会長 堀田力氏）ほか

参加費 1,000円（昼食代、保険代及びバス代一部として）
※自家用車等で直接会場へ行かれる方は無料です。

申込先 令和元年11月8日（金）までに、舞鶴市社会福祉協議会（62-7044）へお電話をお願いします。
※席の都合上、自家用車等で行かれる方もご連絡ください。

紹介 社協facebookへ「いいね！」をお願いします

本会では、今年の2月からフェイスブックを始めました。

本会や舞鶴市ボランティアセンターが実施する地域福祉活動のほか、舞鶴市共同募金委員会が実施する募金運動や助成金案内などについても情報発信していますので、皆さまの「いいね！」をよろしくお願いします！

上記QRコードからご覧いただけます

お礼 ご寄付をいただいた方々

貴重なご芳志をありがとうございました。
有意義に活用させていただきます。
〈令和元年6月13日～令和元年9月20日受領分〉

- 林　大智 様
- 匿名7名 様

合計 171,527円

- 舞鶴野球連盟 様　タオル442本
- 匿名1名 様　紙おむつ3箱ほか